

しまさんち

五台地区中台第一自治会にある個人宅の作業場、通称「しまさんち」。

近所の人自由に入出入りし、お茶をのみながらお話ししたり、ひなたぼっこしたり、お茶は自分で準備して自分で片付ける以外のルールは全くないのんびりとした居場所的存在。



▲てづくりの居場所

きっかけ

元々は家主の「島」さんのお宅で干し芋をつくる作業場として使用していたが、そこに集まる人の居場所となっている。居場所を使用する人が少しずつ備品を持ち込んだり、修繕したりして、過ごしやすい場所を自分たちでつくっている。



▲持ち寄った色々な備品

内容・楽しさ

「みんな勝手に来て勝手にお茶飲んで、勝手に話して勝手に帰って行くんだよ」と、特別なルールはなく、家主が居なくとも自由に入出入りして、お茶を飲んだり持ってきたものを食べたりしながらおしゃべりをしている。

あるときは、来ている人がポスターをつかってバーベキューをやったりなど、本当に何をしても良いことになっています。

とはいっても、朝にはお湯を沸かして、ポットに入れておくなど、島さんの細やかな気配りもあります。来ている人からは「島さんが居なくとも来るけど、島さんが居るから来る」と話していました。

居場所のポイント

散歩の目的地にしているかたや、隣の自治会だけど来ているかた、基本的に「来る者は拒まず、去る者は追わず」がスタンス。来なくなる人もいるが、人はそれぞれ合う合わないがあるので、無理に人間関係に介入せず、心地よいと想える関係を維持していくことが大切とのこと。役割もなければルールもないので、これまで近所づきあいをしてこなかった人も参加できる特徴も。また、週に2回「とくし丸」が来るのでそれを目当てに来る人も。



▲とくし丸でお買い物